

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

教員養成特別コース  
／葛上 秀文

### ■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

#### 1. 目標・計画

現在、高槻市立第四中学校区の研究開発学校制度の取り組みに関与し、小中一貫を踏まえた新領域「いまとみらい」科の開発に関わっている。その取り組みに「おいて重要な鍵を持つ小中一貫のプロセスをエスノグラフィックに研究し、小中一貫を促進する構造を明らかにする研究で申請することを考えている。学校には定期的に訪問し、インタビューなどのデータも蓄積中である。

#### 2. 点検・評価

病気諒のため、計画通り進められなかったが、10月以降、研究を再開し、データ収集を進めた。来年度に向け、申請の準備を進めている。

##### I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

#### 1. 目標・計画

これまでと同様に、専攻、コースで協力して定員確保に向け、大学訪問などの取り組みを継続するとともに、カリキュラムの見直しを図り、より魅力的な教職大学院となるよう、取り組みを進めたい。

#### 2. 点検・評価

カリキュラム改善を図り、学卒者の採用率向上につながるカリキュラムにはかった。10月以降、知り合いの大学教員に連絡し、1名の入学者を得られた。

## Ⅱ. 分野別

### Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

大学院2年の教員採用率の向上に向け、コース教員と協力して、取り組みを進める。

#### 2. 点検・評価

コース教員と協力して、採用試験の対策の支援を行った。1年次で合格し、2年次に実習、研究に集中できるものが出てくるなど、一定の成果が出た。次年度に向けて、コース全体として対策の見直しを進めた。

### Ⅱ-2. 研究

#### 1. 目標・計画

上述した小中一貫の研究を今年度の柱とし、学会発表も行っていく。

#### 2. 点検・評価

大学紀要に共著も含め4本投稿した。小中一貫の研究もデータ収集を進めた。

## Ⅱ-3. 大学運営

### 1. 目標・計画

学部入試委員として、その業務を果たすとともに、教職大学院の専攻の業務の推進に努める。

### 2. 点検・評価

学部入試委員として、学部入試の公平な実施に努めた。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

鳴門市、板野郡の学校評価の集計支援を今年度も継続し、地域貢献を図る。

### 2. 点検・評価

鳴門市、板野郡の学校評価を32校支援し、学校からも高く評価された。鳴門市との覚書も締結し、鳴門市との連携をさらに深めた。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)